

「避難情報に関する特別世論調査」の概要

平成17年 3月
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国20歳以上の者3,000人
有効回収数：2,077人（回収率69.2%）
調査期間 平成17年2月10日～2月20日
- 調査目的 避難情報に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目 (1) 集中豪雨や大型台風等の被害を受けると思うか
(2) 避難について
(3) 今後充実してほしい対策

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを下記宛に御送付ください。

**内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当**

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話 03(5253)2111 内線 82780～82783

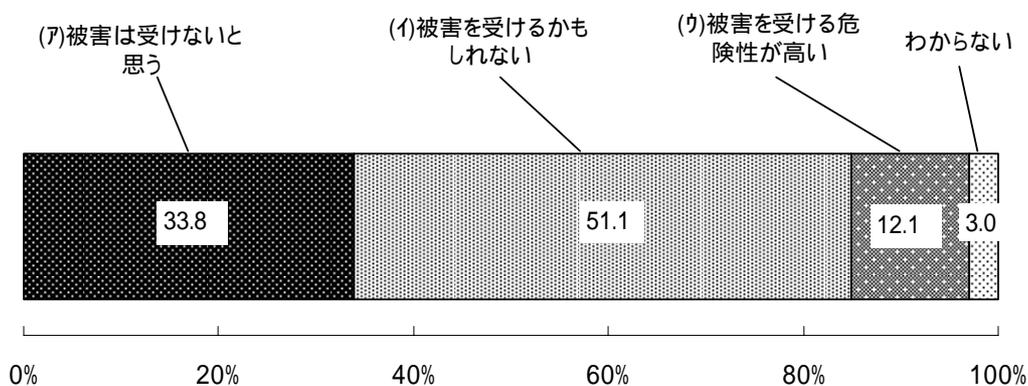
「避難情報に関する特別世論調査」の要旨

平成 17 年 3 月
内閣府政府広報室

調査時期：平成 17 年 2 月 10 日から平成 17 年 2 月 20 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：2,077 人 (69.2%)

1 集中豪雨や大型台風等の被害を受けると思うか

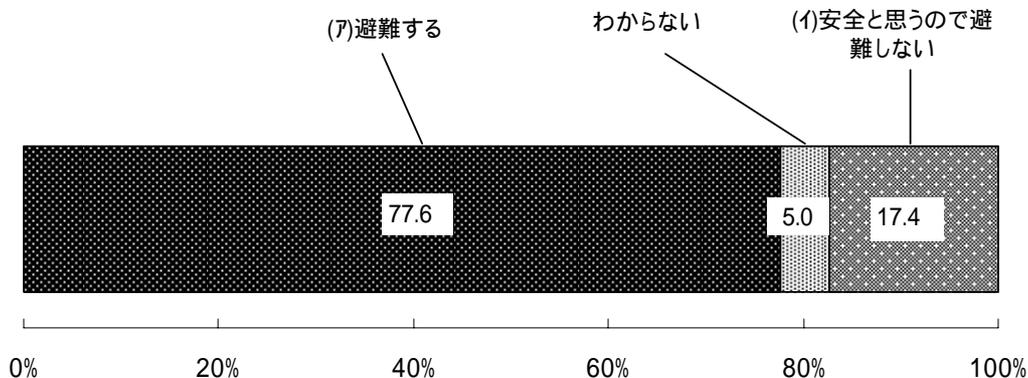
- 平成 17 年 2 月
- ・被害は受けないと思う 33.8%
 - ・被害を受けるかもしれない 51.1%
 - ・被害を受ける危険性が高い 12.1%
 - ・わからない 3.0%



2 避難について

(1) 避難情報を聞いたら避難するか

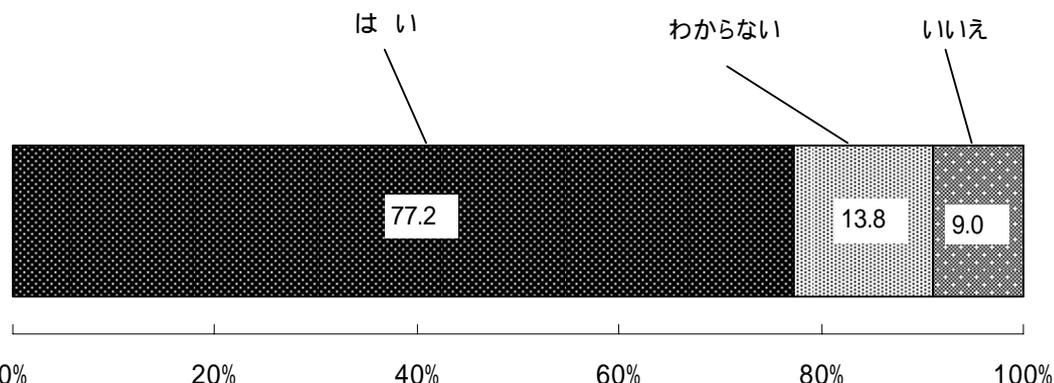
- ・避難する 77.6%
- ・安全と思うので避難しない 17.4%
- ・わからない 5.0%



(2) 避難行動に時間がかかる人を支援するか (避難情報を聞いて「避難する」と答えた者(1,611人))

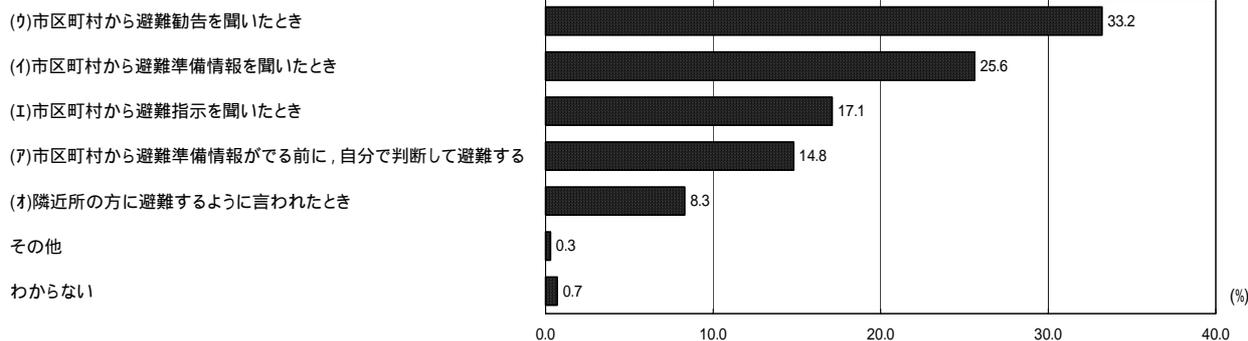
平成17年2月

- ・はい 77.2%
- ・いいえ 9.0%
- ・わからない 13.8%



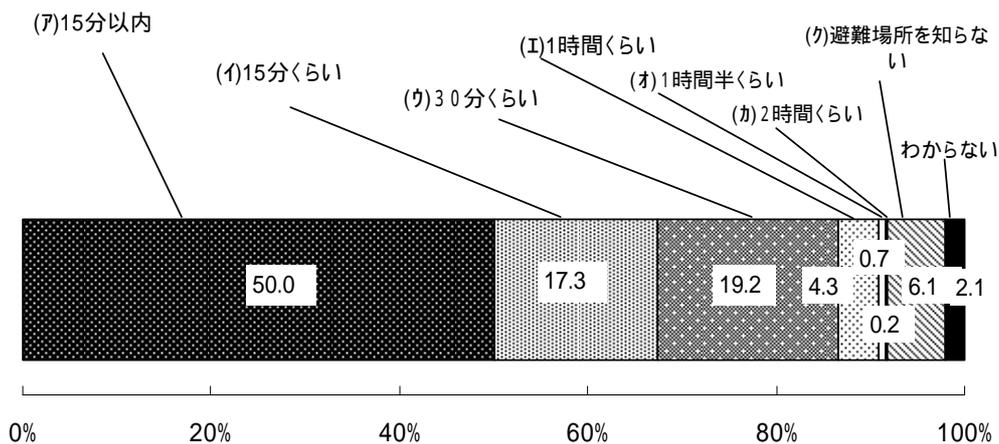
(3) どのような状況で避難するか (避難情報を聞いて「避難する」と答えた者(1,611人))

- ・市区町村から避難勧告を聞いたとき 33.2%
- ・市区町村から避難準備情報を聞いたとき 25.6%
- ・市区町村から避難指示を聞いたとき 17.1%
- ・市区町村から避難準備情報がでる前に、自分で判断して避難する 14.8%



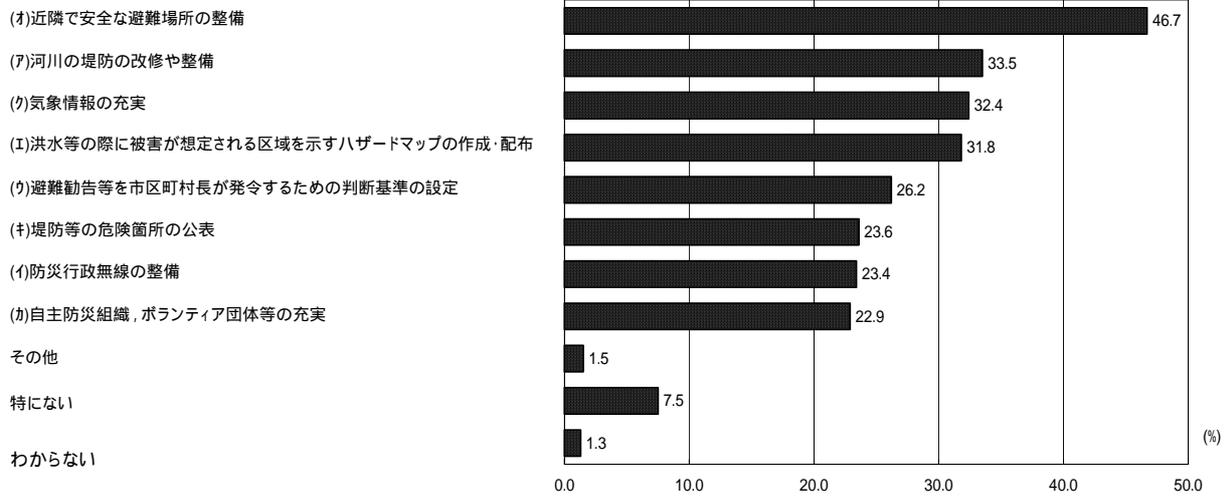
(4) 自宅から避難場所までにかかる時間 (避難情報を聞いて「避難する」と答えた者(1,611人))

- ・15分以内 50.0%
- ・15分くらい 17.3%
- ・30分くらい 19.2%
- ・1時間くらい 4.3%
- ・1時間半くらい 0.7%
- ・2時間くらい 0.2%
- ・2時間半くらい -
- ・避難場所を知らない 6.1%



3 今後充実してほしい対策（複数回答）

- ・近隣で安全な避難場所の整備 46.7%
- ・河川の堤防の改修や整備 33.5%
- ・気象情報の充実 32.4%
- ・洪水等の際に被害が想定される区域を示すハザードマップの作成・配布 31.8%



避難情報に関する特別世論調査

平成 17 年 3 月

調査時期：平成 17 年 2 月 10 日～2 月 20 日
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
回収結果：2,077 人（69.2%）

話は変わりますが、次に時事問題として、避難情報についてお伺いします。
ここで伺いする「避難情報」は、集中豪雨や大型台風等の災害についてのものであり、地震など、予測が不可能な災害についてのものは含まれません。

（資料を提示してよく見てもらってから質問する。）

< 資料 >

政府では、平成 16 年の集中豪雨や大型台風等の災害における避難誘導状況を踏まえ、避難情報の伝達や高齢者等の避難支援について、有識者からなる検討会において検討を進めてきました。昨年末に取りまとめた検討骨子では、これまでの「避難勧告」、「避難指示」という 2 種類の避難情報に、新たに「避難準備情報」を加え、3 類型とすることとしています。

それぞれの避難情報の概ねの趣旨は次のとおりです。

「避難準備情報」：災害の発生する可能性が高まった状況において、高齢者等の避難に時間を要する方、健常者でも避難所までの距離が遠い方などに避難を促す情報。

「避難勧告」：災害が発生する可能性が明らかに高まった状況において、通常の方に避難の開始を求める情報。

「避難指示」：災害が発生する危険性が非常に高くなった状況等において、未だ避難していない住民は直ちに避難し、避難する余裕がない場合は少しでも生存率の高い行動を実施することなどを指示するもの。

政府では、今後、国民の意見を参考にしながら、市町村が避難情報を発令すべきタイミングについての判断基準を設定するためのマニュアルを年度内に作成するとともに、各市区町村による判断基準の設定、住民への浸透促進等を進めていきます。

Q 1〔回答票 23〕あなたのお住まいの地域で、集中豪雨や大型台風等により、河川の破堤、高潮、土砂災害等の災害が発生した場合、あなたが被害を受けると思われますか。この中から 1 つだけお答えください。

(33.8) (ア) 被害は受けないと思う (12.1) (ウ) 被害を受ける危険性が高い
(51.1) (イ) 被害を受けるかもしれない (3.0) わからない

Q 2〔回答票 24〕集中豪雨や大型台風等の際に、あなたは在宅し、又は自宅近辺にいたときに避難情報を聞いた場合、あなたは避難しますか。この中から 1 つだけお答えください。

(77.6) (17.4) (5.0)
(ア) (イ) 安全と思うので避難しない わからない
避難する

（Q 2 で（ア）と答えた者に）

S Q 1 では、あなたが避難する場合、寝たきりの高齢者、障害者等、避難行動に時間がかかる人を支援しながら避難しますか。

(N=1,611) (77.2) (9.0) (13.8)
はい いいえ わからない

S Q 2〔回答票 25〕では、あなたはどのような状況になったら避難行動を開始すると思いますか。
この中から1つだけお答えください。

- (N=1,611) (14.8) (ア) 市区町村から避難準備情報がでる前に、自分で判断して避難する
(25.6) (イ) 市区町村から避難準備情報を聞いたとき
(33.2) (ウ) 市区町村から避難勧告を聞いたとき
(17.1) (エ) 市区町村から避難指示を聞いたとき
(8.3) (オ) 隣近所の方に避難するように言われたとき
(0.3) その他 ()
(0.7) わからない

S Q 3〔回答票 26〕あなたは、豪雨の中等、実際に避難する状況で、自宅から避難場所にたどり着くまでにどれ位の時間が必要であると思いますか。この中から1つだけお答えください。

- (N=1,611)
(50.0) (ア) 15分以内 (4.3) (エ) 1時間くらい (-) (キ) 2時間半以上
(17.3) (イ) 15分くらい (0.7) (オ) 1時間半くらい (6.1) (ク) 避難場所を知らない
(19.2) (ウ) 30分くらい (0.2) (カ) 2時間くらい (2.1) わからない

(全員に)

Q 3〔回答票 27〕今後、充実してほしい対策としては、どのようなものがありますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

- (33.5) (ア) 河川の堤防の改修や整備
(23.4) (イ) 防災行政無線の整備
(26.2) (ウ) 避難勧告等を市区町村長が発令するための判断基準の設定
(31.8) (エ) 洪水等の際に被害が想定される区域を示すハザードマップの作成・配布
(46.7) (オ) 近隣で安全な避難場所の整備
(22.9) (カ) 自主防災組織、ボランティア団体等の充実
(23.6) (キ) 堤防等の危険箇所の公表
(32.4) (ク) 気象情報の充実
(1.5) その他 ()
(7.5) 特になし
(1.3) わからない (M.T.=250.8)